

2025・26年度【ガバナー／小山 英一】

第3533回

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩

UNITE
FOR
GOOD

2025/11/27

No.20

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15

チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点鐘 牧野 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト
ゲスト

■米山奨学生 チェ・ジェウォンさん

■カウンセラー 新明政夫様（小矢部中 RC）

会長報告

■誕生祝

中村総一郎さん（11/28・61才）

岡本 欣治さん（12/1・78才）

小川 孝さん（12/3・41才）

■米山奨学会より感謝状

第40回 米山功労者 山本毅 さん

委員会報告

■雑誌委員会（竹田委員長）ロータリーの友紹介

＜ニコニコBOX 9件 26,000円 ＞

カウンセラー新明様（小矢部中 RC）／よろしくお願ひいたします。

牧野会長／チェ・ジェウォンさん、神明政夫さん、ようこそ高岡ロータリーへ。卓話よろしくお願ひいたします。

中野副会長／米山奨学生チェ・ジェウォンさん。ようこそ高岡 RC へ。

坪田幹事／チェ・ジェウォンさん、神明政夫さん、ようこそ高岡 RC へ。本日の卓話よろしくお願ひします。

岡本君／小矢部中 RC の新明政夫さん、ようこそ高岡 RC へ。せっかくお迎えしようと思って居りましたが茶道裏千家 前お家元様の「お別れ会」で京都に居ります。お迎え出来ずすみません。米山奨学生の卓話よろしくお願ひします。

永田君／北陸予防医学協会、金山町の敷地に再設置した「励みの鐘」に歴史的価値があるとして当クラブの読売新聞、チューリップテレビ、北日本新聞から報道していただきました。ご配慮に感謝し、今後とも親しんでいただくことを願っています。

室崎君／ウクライナ出身の安青錦が優勝したことを同郷のOLENAに伝えました。OLENAはウクライナと相撲の接点など全く知らず驚きつつ喜んでいました。来年1月には 第二子が生まれるようで忙しそうでした。日本への愛着が未だに強く、来年中に

訪日できるよう計画中とのことでした。高岡 RC の皆様、若野さんに宜しくとのことでした。

山岡君／本日、100 社会参加にあたり、事前懇親会を行います。ご参加希望の方は車さんまでお申してください。

中川君／本日もニコボックスありがとうございます。月に一度はニコボックスよろしくお願ひします。



11/20 4番テーブルミーティング

都万麻 8名出席



米山奨学生卓話

「わたしのストーリー ：大邱、学び、漢方、ロータリー」 チエ・ジェウォン様

自己紹介

Rotary
第2610地区



名前：鄭在媛（チョン ジェウォン）
정재원
韓国、大邱広域市 韓国、大邱広域市
趣味：料理、旅行
所属：富山大学大学院 博士後期 2年生
医学理工学環 応用和漢医薬学プログラム

これまでの学び

Rotary
第2610地区



13

大邱の漢方

Rotary
第2610地区

なぜ有名? → 大邱には歴史のある漢方薬材市場が存在するため!

大邱の薬令市



1658年に始まり、360年以上の歴史を持つ、韓国最大規模の漢方薬材専門市場です。（朝鮮時代から現在まで続いている。）

かつては全国各地から薬材を背負って持ち込んで取引していましたが、現在では現代的な流通方法に変化しています。
それでも、毎年5月頃に開催される「韓方文化祭」や「韓医薬博物館」を通じて、

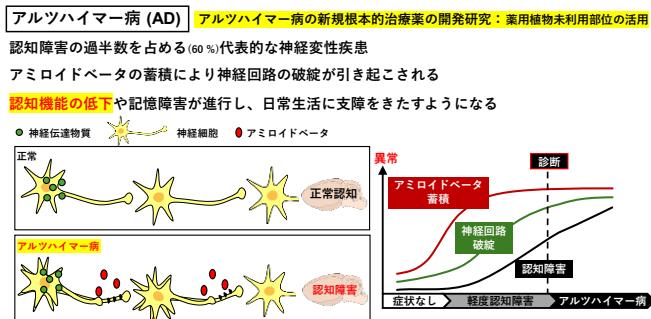
伝統と現代を融合させた文化空間として生まれ変わっています。

現在多くの漢方薬材店が集まっており、通りを歩くと独特な漢方薬の香りを感じることができます。

15

現在行っている研究

Rotary
第2610地区



なぜ和漢医薬学？

- 修士課程では、天然物を利用した脳疾患の治療薬をテーマに研究
①自閉症 ②パーキンソン病 ③注意欠如・多動症
- 学部専攻の食品栄養学との関連性
- 出身地の大邱は漢方薬で有名な地域であり、以前から漢方医学や伝統医薬に興味を持っていた



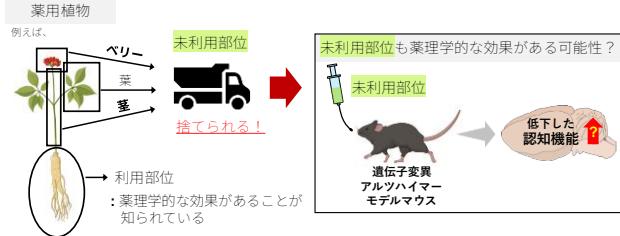
伝統医薬（和漢薬など）を現代の科学技術で研究し、東洋医学と西洋医学の融合を通じて、新しい医療体系の構築を目指しています。

主な研究課題として、
①天然薬物資源の確保と保全
②基礎研究および東西医薬学の融合研究の推進
③漢方医学の診断、治療の科学化と人材育成
④伝統医薬学に関する情報発信の拠点形成を掲げています。

14

Rotary
第2610地区

現在行っている研究



薬用植物の未利用部位に対する研究が必要です

薬用植物の未利用部位を活用し、認知機能の低下を改善するアルツハイマー病の新たな治療法を探す

感謝の気持ち: 世話クラブとの思い出

251013_小矢部キッズスポーツフェスティバル



25

Rotary
第2610地区

感謝の気持ち: 世話クラブとの思い出

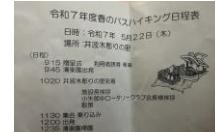
小矢部中RC

カウンセラー：新明 政夫

* 米山奨学生紹介
チョン・ジェウォンさん（富山大学／韓国）
* 4月の奨学生贈呈



250522_清楽園バスハイキング



23

Rotary
第2610地区

感謝の気持ち: 米山奨学生会

250518_ロータリーYouth Day



250614_能登・巖門海岸清掃 & 復興学習体験



26

●これまでの学び

2017年3月に大邱カトリック大学食品栄養学科に入学し、2021年2月に学士課程修了しました。日本と違って、韓国の卒業は3月です。卒業してすぐ同じ大学の大学院食品栄養学科臨床栄養専攻に入学して、2023年8月に修士課程修了します。卒業した後に、2024年1月から3月まで3か月間富山大学大学院に研究生として生活し、去年4月から富山大学大学院医薬理工学環応用和漢医薬学プログラムに入りました。

●なぜ和漢医薬学か？

3つの理由があります。まず1つ目は修士課程のときは天然物を利用した脳疾患の治療薬をテーマに研究を行いました。例えば自閉症やパーキンソン病、注意欠如・多動症など脳疾患の治療剤をテーマで研究しました。もともと天然物を基盤として脳疾患の治療剤に興味をもったからです。2番目は、学部専攻が食品学科だったので、関連性があると思いました。3番目は出身地の大邱は昔から漢方薬で有名な都市だったので、以前から漢方薬や伝統医学に興味がありました。この3つの理由があるから和漢医薬学総合研究所の神経機能学領域で研究しています。

●大邱の漢方

なぜ有名か？大邱には歴史ある漢方薬剤市場が存在するためです。1658年に始まり、360年以上の歴史を持つ、韓国最大規模の漢方薬専門市場です。朝鮮時代から現在まで続いている。かつては全国各地から薬剤を背負って持ち込んで取引していましたが、現在では現代的な流通方法オンライン等に変化しています。それでも毎年5月頃に開催される「漢方文化祭」や「韓医薬博物館」を通して伝統と現代を融合させた文化空間として生まれ変わっています。現在多くの漢方薬剤店が集まっており、通りを歩くと、独特な漢方薬の香りを感じることができます。

●大邱の薬令市

毎年5月に開催される「漢方文化祭」ですね、小さい頃はよくいきました。薬剤とか踊りとか、薬剤を切るものを見る能够性ができるし、漢方を煎じるものとかも見ることができます。「韓医薬博物館」についてですが、正式名称は「薬令市韓医薬博物館」で、昔の漢方を治療するときの模型とか体験できます。

●現在行っている研究について

現在行っている研究テーマは、アルツハイマー病の新規根本的治療薬の開発研究：薬用植物未利用部位の活用です。簡単に説明します。アルツハイマー病というものは、認知障害の過半数をしめる代表的な神経変性疾患で、アミロイドベータの脳への蓄積により、神経回路の破綻が引き起こされます。それにより認知機能の低下や、記憶障害が進行し日常生活に支障をきたすようになります。正常な脳では、神経細胞が神経伝達物質を介して相互に信号伝達を行い、その機構によって認知機能が正常に維持されます。しかしアルツハイマー病になると、アミロイドベータが脳の中に蓄積し、神経回路破綻します。肌などは、傷ついても修復できますが、神経細胞は1回損傷すると回復が難しい組織です。アミロイドベータにより委縮した神経細胞は神経伝達物質を正常に信号伝達ができなくなることで認知障害がおこります。

私は薬用植物の未利用部位に着目しました。薬用植物の中には全ての部位に薬理活性が認められるものもありますが、多くの場合、根など一部の部位のみが薬理学的效果を持つとされ、ベリー・葉・茎といったその他の部位は未利用部位として廃棄されています。同じ薬用植物であるにもかかわらず、これら未利用部位にも薬理学的な有用性が存在する可能性があると考え、この領域の研究の必要性を感じました。そのため、私は未利用部位から得られたエキスを遺伝子変異型アルツハイマーモデルマウスに経口投与し、低下した認知機能を回復させる効果を持つエキスの探索を行いました。また、薬用植物の未利用部位を活用し、認知・記憶機能の低下を引き起こすアルツハイマー病に対する新たな治療法の開発を目指しています。皆様からのご支援のおかげで研究に専念することができ、本年8月に開催された第42回和漢医薬学会学術大会にて研究成果を発表し、優秀口頭発表賞を受賞いたしました。

●感謝の気持ち、お世話クラブとの思い出

お世話クラブは小矢部中ロータリーさんです。カウンセラーさんは新明政夫さんです。4月に奨学生を頂きました。毎回ロータリーに行くと、週報に私のことも取り上げてくださっています。初めての活動は今年5月のバスハイキングです。車いすの方を押しながら散歩をして、心が温かくなる活動でした。6月6日の津沢夜高祭りは、カウンセラーの新明さんと見に行きました。このようなお祭りは韓国では見たことがなく、本当におもしろかったです。写真に撮ったりして楽しい時間を過ごしました。次に10月13日の小矢部キッズスポーツフェスティバルに参加しました。小矢部中ロータリークラブが主催して、受付の準備を手伝ったりしました。子どもたちが参加する大会ですが、小矢部中ロータリーの大人たちも参加、私は一度もホッケーをやったことはないのですが、選手として参加し、1ゴール入れることができてうれしかったです。久しぶりに運動して体が筋肉痛でしたが楽しい時間を過ごしました。

●感謝の気持ち、米山奨学生会

5月18日、米山学友会の活動としては初めてですが、ロータリーユースで初めて奨学生のみなさんに会って話をしたりしました。6月14日の能登・巖門海岸清掃＆復興学習体験活動ですが、地域の話を聞いたり、清掃をしたりバーベキューをしたり楽しかったです。7月5日6日と大阪・関西万博に行きました。いろいろな企業の話を聞いて勉強になったり、見学したりして楽しい時間を過ごしました。7月21日の米山学友会第20回定期総会で、瑞龍寺に初めて行きました。大きくてすごいと思いました。

昨年、私は博士後期課程に入学し、日本での研究生活を始めました。しかし、研究と生活のアルバイトを両立することは、大変でした。そんなとき、今年4月に米山奨学生になり、研究を続けるうえで大きな支えとなりました。毎月の例会では、奨学生だけでなく、おいしい食事や温かい言葉をいただいています。研究はいつも成功より失敗が多いと思っています。研究がうまくいかず落ち込んでいるときでも、例会で「ジェウォン、がんばれよ！アルツハイマーの薬を作ってくれ！」と

声をかけていただいくと、また前を向いて頑張ろうと思うことができました。皆さんのお言葉は、私にとって大きな励ましになっています。その支えのおかげで研究にも集中でき、8月に行われた「和漢医薬学会」で研究成果を発表し、「優秀口頭発表賞」をいただくことができました。この受賞は、私一人の力ではありません。いつも応援してくださるロータリアンの皆さまのおかげだと思っています。皆さん本当に感謝いたします。ご清聴ありがとうございました。



11/2.3 山岳同好会
紅葉の三方岩岳ハイキング